

かいぞう

地区広報



今日も独り住いの老人を訪ねる嶋さん(写真左)

昭和四十八年

から始めて…

ひとり住いのお年寄り……全く身寄りのない人や、息子や娘がいても遠くに住んでいるためひとり暮ししている人。

この様な老人のため、地区社会福祉協議会に委嘱されて、訪宅活動を続ける嶋はな江さん。喜びや悩みを分かち合つて、まる六年になります。

約三十軒担当していますが、一日中歩き回つても三軒くらい月に二〜三回しか訪問できません。

待ちわびる

お年寄り…

政治・経済から孫の話題まで時折プチも混りますが、根気よく話相手になります。

そのためか、「もうそろそろ来てくれる頃や」と、ほとんどの人が訪問を待ちわびています。

高令化社会になればなる程、こうした仕事が必要になってきます。この灯を消さないで欲しい……これは皆んなの願いです。

出張所からセンターへ

名称が変わる

今年四月から、市役所海蔵出張所が海蔵地区市民センターという名称に変わりました。

これは単に呼び名が変わったというだけではありません。従来出張所業務に公民館業務が付け加えられ、土木、下水、ゴミなどの問題のほか、地域福祉や文化の向上を図り、住民と行政とが一体となって、住みよい豊かな地域社会づくりを目指そうとするものです。その拠点となるのが地区市民センターです。

さて、ひと足先にセンター化された三重、四郷などでは、新しい建て物に充実した設備が整

い、多くの地域住民の方々の活動の場となっております。

当海蔵地区市民センターも、二、三年後には新築される予定になっておりますが、この間は従来出張所（センター）会議室を使ったり、小学校、保育園その他各地区集会所などを利用

させて戴きながら、活動を推し進めてゆきたいと考えております。

皆さんのお知恵を拝借し、皆さんと共によりよい海蔵地区づくりに努力したいと考えております。どうかご協力をお願い致します。

地域福祉を考える

社会福祉協議会会長

児島清夫

「福祉」と言いますと、多くの方が老人や心身障害者、あるいは母子家庭といったことを思い浮べるに違いありません。その通りだと思います。

に表われてきています。年毎にきめの細かい福祉施策が講じられ、昔と比べようがない程、その進歩には目を見張るものがあります。

もちろん、単にこれだけを意味するわけではありませんが、大まかに言えば「社会的弱者の救済」と解することができると

が、一転して私たちの住む地域を見ても、それだけでは充分かつ完全でないことがわかります。そのため、海蔵地区社協では、以前から様々な事業と取り組んで参りました。この表紙にある「独居老人訪問」事業や、カギっ子のための「留守家庭児童保育」事業など、その代表であります。

その結果としての施策が、老人医療の無料化とか、各種の年金制度、あるいはいろんな福祉施設の建設、整備といったこと

今少し、弱者救済にとらわれない、積極的な意味での「福祉」を考えてみますと、非行のない

四月定期人事異動により、左記の職員で、センターの運営にあたることになりました。一同誠意をもって職務を遂行致したいと思っております。海蔵地区の皆様方には、よろしくご協力の程、お願い申し上げます。

館長 杉野 庄衛
副館長 田中 久敬
同 黒宮 吉彦
主事 伊藤 千恵子
試補 田村 周子
用務員 三谷 キヨ

新職員構成

町、ゴミのない衛生的で美しい町、家族や近所の人たち皆んなでスポーツに汗を流し、又時には絵画や音楽など文化、芸術に触れることも、幅広い意味での福祉と呼ぶことができるでしょう。それは、「心身共に健全で明るい家庭、住みよい海蔵」を作ることになると思います。

家庭で、近所で、地域で、皆さんが創意工夫を凝らし、明るいまち、福祉のまちを作ろうではありませんか。

主張

最近の大人は、よその子どもを叱ったりしなくなった。いや大体、自分の子どもをもあまり叱ることがない。

核家族世代に、一般に一番大切に考えられているのは、家庭で子どもが中心となるような平和やだんらんである。だから、子どもは親の愛する大切なものであるから、ガミガミとなりつけることもできないだろう。だから、自分の子どもが他人に叱られたりすると、ひどく腹を立て、文句もいう。

よその子どもも叱ろう！ 青少年の非行に監視の目を

四日市市にも地域住民全員参加の青少年育成市民会議というものがあるので、みんなで青少年を健全に育成しようとして

監視はきびしかった。盛り場や歓楽街では、特に怖い目が光っていて、不審な子どもを見かけると警察官ばかりでなく、一般の人々によっても注意されることも多かった。こうしたきびしさが、子どもの家出、非行、自殺などを救ったのは数知れなかった。

子どもは親の愛する大切なものであるから、ガミガミとなりつけることもできないだろう。だから、自分の子どもが他人に叱られたりすると、ひどく腹を立て、文句もいう。

それは、「心身共に健全で明るい家庭、住みよい海蔵」を作ることになると思います。

家庭で、近所で、地域で、皆さんが創意工夫を凝らし、明るいまち、福祉のまちを作ろうではありませんか。

昔は子どもに対する社会の

山手中 T・T



治水・排水改良工事進む

源の堀川と羽津二号幹線水路

海蔵地区の主要排水路である源の堀川と羽津二号幹線の改修工事が始まりました。

小学校の南を流れる源の堀川は、昨年度、海蔵川樋門とを上流約六〇Mまで完成、今年度は、小学校南角までの約二〇Mと、橋の架け替えが予定されて

います。

羽津二号幹線とは、朝鮮学校のすぐ北を二号線を越えて、三ツ谷町北区方面に流れる水路のことです。今年度は朝鮮学校下から

一号線の間、約二〇〇Mの改修が予定されています。



(改修の終わった部分の)源の堀川と樋門



羽津2号幹線水路(アラキヤ南)

来年春には渡り初め!! 末広橋完成間近か

現在の末広橋は幅員が狭く、車の代交が困難なため、早く新しい橋が完成しないものかと、皆んなが首を長くして待っていました。長期の工事となっていたこの橋も、やっと姿が整ってきました。

後には七Mの道幅になるということですが。

今年度においては、橋上部の仕上げと、左右両岸道路の取付け工事が行なわれ、来年春には完成の予定です。尚、取付け道路は、コンクリートの側壁をつくってかさ上げを行ない、完成



完成間近かな末広橋

昭和55年度 各種団体役員の方

連合自治会

会長

中島正夫

民生委員会

会長

堀内史郎

婦人會

副会長

藤田英子

母子福祉會

副会長

田中よし子

老人會

副会長

今村ふみ子

子供育成會

副会長

小島弘一

中央指導委員會

委員長

水谷敏彦

遺族會

副会長

野崎博彦

消防分團

副團長

笹岡忠雄

體育指導委員會

地區委員

伊藤悦夫

留守家庭児童會

副團長

稲垣正夫

海蔵文庫

理事長

太田友二

海蔵文庫

副理事長

内山哲也

海蔵小学校

副理事長

熊本哲三

海蔵幼稚園

副理事長

山梨喜一

海蔵保育園

副理事長

中山輝彦

海蔵協賛會

副理事長

河本治三

坂倉小三郎

家庭でのしつけは大丈夫？

保育園でお母さんの教室開く



熱心に話を聞くお母さんたち

ます。

このほど、海蔵保育園、同保護者会、海蔵地区市民センター共催で、園児をもつ母親を対象に、「幼児のしつけ」の講演会を開催しました。

講師の海蔵小学校長鎌田先生は、長年の教育にたづさわった経験から、豊富な事例を示しながら話をされ、集まったお母さん方から、「大変勉強になりました。早速実行に移したい」との声が聞かれました。

七夕まつりをとおして

海蔵保育園保母 市川明子



「うわー、きれい」の連発！

「善意の袋」御礼

本年も「善意の袋」をお願いしましたところ、沢山の方がご協力下さいまして総額四十五万余円になりました。厚く御礼申しあげます。この志を大切に、地区社会福祉のために有効に活用させて頂きたいと存じます。

風習もありましたが今では焼いてその煙が早く天にとどいて願い事を叶えてもらえる様、笹焼きをしてお祈りをしました。一・二才の幼い子供もお兄さんお姉さんと同じように手をあわせていました。保母も「早く子供達の願いごとが叶えられますように」「たくましい子供に育ってほしい」と願いながら手を合わせ七夕まつりを楽しく過しました。

「心身とも健やかに育って欲しい」これはいつの時代も変わらぬ親の願いです。ところが、俗悪なマスコミの影響や生活環境の変化から、成長するにつれ、非行に走る子どもや、非行とはならないまでも好ましくない行動をとる子どもが年々増えてゆきます。

「我が子に限って……」と、事が起ってからあわてても遅すぎます。学校、家庭、地域社会が一緒に努めなければならぬでしょう。とりわけ家庭において、親が子どもを指導する——しつける——ことは最も重要となっております。日々、具体的な生活の中で、時にはしかり、時にはほめてやる、あるいは又、暖たく見守ってやったり、子どもの相談にのって解決の糸口を見出す等々、年令に応じた適切な指導が心要です。

一年に一度の七夕まつり、子供たちは、一週間程前から楽しみにして、おりました。年令にあわせて西瓜、ナス、キュウリの夏野菜、ちようちん、輪つなぎ、思い思いの願い事を書いた短冊が沢山用意出来、各クラス共、飾っている時の子供の眼のかがやき、又立てた時、自分達の手で作った飾りにみとれ本当にうれしそうでした。

はお母さんに協力してもらいたい願い事を書いてもらいましたが「お友達に沢山できますように」「元氣な子に育つように」などには「ウルトラマンのようにつよくなれ」というユニークなものまでありました。

当日、梅雨空をながめては「今日、お星さまみられるかなー」「ドラエモンをついた自転車買ってと書いたけど買ってもらえないかなー」と友達同士話している子供達！ ほほえましく思いました。



これ、ぼくのおねがだよ！

年少児のひよこ組でも星型とストローを交互に通し自分の手で飾りを作ってくれました。短冊

七夕のお話を聞いたり、歌を歌ったり、保母の演ずる「織姫、ひこ星」の劇を観て幼いながらも七夕の伝説が理解出来たことと思います。八日には園庭にて各クラスから出された笹飾りを焼きました。以前は川に流す

昭和五十年六月十一日に開館した「海蔵文庫」も、早や五年を迎えました。

海蔵文庫五周年迎える

地区の皆さんや篤志家のご寄付により、当初数百冊の図書も現在では約三千冊となり、地域図書館としては四日市のみならず、三重県内でも有数の充実したものとなりました。

毎週水・土曜日の二回開館しておりますが、沢山の子どもたちが、学校の帰りに本を読み、借りてゆきます。

五年と言えば、当時利用していた子どもたちも、今では中学生です。勉強くで追われる中であって、本当の意味での読書の喜び、楽しみがわかったのではないのでしょうか。子どもの頃に育まれた「喜び」「悲しみ」など種々の感動は、心の栄養として、大きくなって結実することでしょう。

児童劇観賞会開く

三重大「トンカチ一座」公演

五周年記念事業として、去る六月二十九日、小学校体育館にて児童向け演劇観賞会を開きました。

約二百五十名の子どもやお母さん方が参加、三重大「トン



三重大「トンカチ一座」観賞会

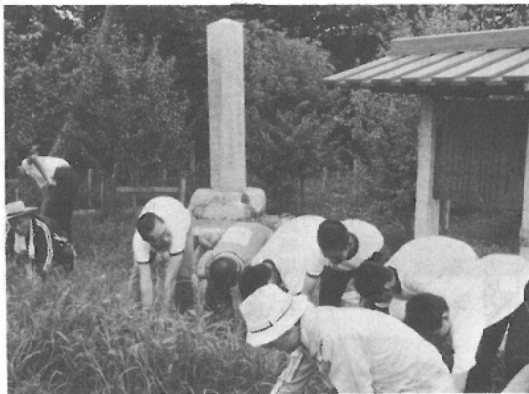
カチ一座」の演ずる「おしろうさんとこぞうさん」を見、また皆んなで歌をうたって、楽しい半日を過ごしました。子どもたちも熱心なら、学生さんも子どもに負けまいと大張り切り、汗だ

くだくになって頑張り通した様子です。

「トンカチ一座」代表の大住さんは「四日市での公演は初めてですが、子どもさんたちと一緒に演ずることが出来ました。是非また海蔵地区へやって来たい」と話していました。

未永く可愛がってね…

私は「いぬなし二世」です



いぬなしの清掃をする山手中の生徒たち

いぬなしの兄弟は、日本の国内の敷カ所にいららしいの。でも、約六十年前の大正十一年に牧野富太郎博士が学界に発表して、私たちの自生地が、正式に国の天然記念物に指定され、永久に保存されることが決ったわけ。だから私たちは血統書付きの「いぬなし親子木」というわけね。

この間、山手中の生徒さん四十名が小雨降る中を、一生懸命に草刈りをしてもらってありがとう。もう十年以上も前から毎年清掃してもらってるんだってね。その善行をたたえるため市の教育委員会より感謝状をお受けになったそうですね。心よりおめでとう。

いぬなしの子供会も結成されてから今年で十年目ね。そのほからライオンズクラブの人たちも奉仕されるそうね。感謝の気持ちでいっぱいよ。

いぬなしの住心地も周囲の環境も大分よくなってきたけれど、時々アキカンやゴミを捨てていく人がいるわよ。「いぬなし」もみなさんの限りなき愛にはぐくまれながら、病氣しないようがんばるけれど、四日市市民のみなさんの暖い協力で未永く大切に見守っていつてね。お願いよ。

いぬなし清掃世話人一同

池田 理

私たちがふるさと、海蔵地区には天然記念物となっている、「いぬなし」「あいなし」といふ非常に珍しい、野生のナシの原種ともいえる木が自生していることを知っている？ いぬなしは山手中学のすぐ東に、あいなしは海蔵神社の西側にのるよ。

住心地がい最近わかったんだけど、いぬ

海蔵川縁に公園完成

大いに利用しましょう

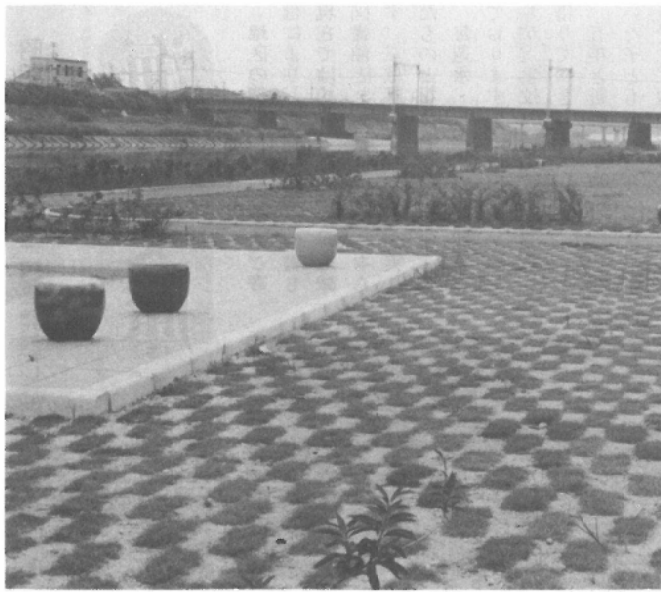
海蔵川緑地整備事業として、河川敷の公園化が進められていますが、この程昭和五十四年度分として、一号線海蔵橋、近鉄線の間の、川の北側（万古町と三ッ谷町地内）が完成しました。

皆さん方、大いに利用・活用して下さい。

尚、河川は治水、利水が本来の目的であるため、増水時に支障をきたす柵類を設けることが出来ません。低木類で囲っては、あるものの、ともすれば子どもたちが川へ出ることも考えられますので、平素危険な水遊びに

対する注意をして戴きたいと、市役所公園緑地課では呼びかけています。

引き続き今年度は、その南側及び近鉄線、末永橋間の両岸の工事が予定されています。



完成した海蔵川河川敷公園

西阿倉川浄覚寺の鐘の音 時を告げて三十年

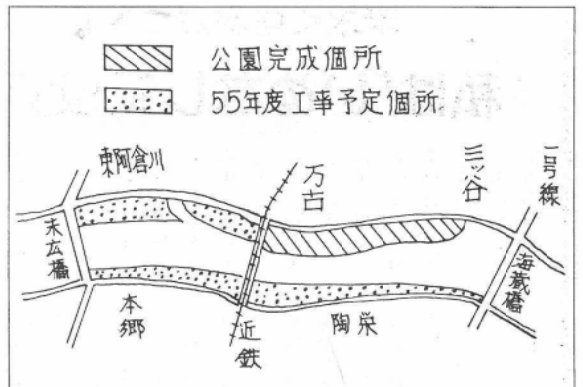
「オーイ、今何時だ」

「そうね、先程お寺の鐘が鳴ったから十一時二十分頃ね」

「そうか、もう昼か」

先日の日曜日、御主人は庭の手入れ、奥さんは洗濯物の片付けをしている庭先での会話の一部です。

今日は六月十日の「時の記念日」に因んで、時を告げる事三十年余、テレビ、ラジオの普及している今日でも尚、町内の皆さん方が、知らず／＼の間にも頼りにし、又親しみ続けて来た梵鐘の話を紹介しましょう。



西阿倉川町地内のお寺、浄土真宗西本願寺派、海蔵山浄覚寺

このお寺の梵鐘も、御多分にもれず、戦時中供出で、お国の為に動員され、住みなれた鐘楼と別れを惜みつつ一路戦場（石原産業）へと出陣をしました。が間もなく終戦となりました。

その後、戦場（溶鉱炉）行きの列車に乗り遅れた戦友（鐘）が石原産業で野営をしている、その中に浄覚寺の名入の鐘も居たと言う話が、風の便りに西阿倉川町の門徒の方の耳に入りました。門徒の方は大喜び、すでに

戦死？ をしたと思っていたのが野営をしていると聞き、早速面会に行きましたが、姓名は浄覚寺でも、出身地が違った人？

ちがいが、すでに海蔵山浄覚寺の梵鐘は立派にお国のために散った後でした。

現在の梵鐘は、その後、昭和二十四年に門徒の方々の御協力です。それ以来今日まで、雨の日も風の日も、四季を通して朝の五時、昼の十一時と日に二回、梵鐘を鳴らし続けておられます。梵鐘を鳴らす事が仏行の一環か

どうかわかりませんが、当時の農家の方が野良仕事で、又今日でも、前述した様に一般家庭の日常生活の中にも、時報としてこの梵鐘の音を頼りにして居る事は事実です。

日本の平和が続く限り、この梵鐘の音が鳴り続ける事でしょう。御住職及び御家族の皆様、本当にご苦労さまです。

(H・N)



浄覚寺鐘楼

長生き海蔵一

男 伊藤 卯吉 89才 (三谷町)
女 石崎 せい 95才 (清水町)

今回、海蔵地区での一番の長寿、男性伊藤卯吉さんと女性石崎せいさんを訪ねてみました。伊藤さんは明治24年3月24日生れ、現在89才、石崎さんは明治17年10月16日生れ、95才の高齢です。

自転車店一筋に生きて

伊藤卯吉さん

伊藤さんは、自転車店一筋に生きてこられ、いまだに自転車を組み立てたり、修理したりして元氣そのものです。息子さんの悦夫さんを混えてお話を伺いました。

広報部 お元氣ですね。

伊藤 そうですね。このとおりいまだに仕事をしております。最近、腰が痛いか耳が少し遠くなったという外には、特に具合の悪いところはありません。

広報部 食事は?

伊藤 ごく普通の食事をしていきます。毎朝生玉子を食べ、夕食にはサシミ、煮魚などです。この頃ちよつとひかえています。晩酌は欠かせません。もつとも間食は一切しません。

広報部 長生きの秘決はなんですか。

伊藤 両親が九十四才まで生きていたと聞きますから、長生きの血をひいているとも言えますね。それ以上に、若い頃から

- 一、規則正しい生活をしていた
- 二、物事にくよくよしない
- 三、正直な性格のため、人から憎みを買うことがない
- 四、何事にも無理しない

こんな生き方が、長生きにつながっているのかも知れません。しかし、総体的に普通の人と比べて特に変ったことはしてませんね。

広報部 今迄での一番の思い出は何でしょうか?

伊藤 何と言っても、終戦後の苦しい生活です。戦災で家は焼ける、食べ物のない時に五人の子どもを育てなければならなかった……。



今日も元気に修理する伊藤さん

広報部 趣味・楽しみは?

伊藤 テレビを見ること。プロレス、歌謡番組です。それから週一回自転車で、近鉄百貨店へ買い物兼ねた散歩に出かける

ことです。

広報部 どうもありがとうございます。今後も体に気をつけて、さらに長生きして下さい。



元氣な頃の石崎さん

九十五才の石崎さん

石崎さんは昨年からはほとんど寝たきりの状態です。子どもさんはずでに他界して、面倒を見ておられるお孫(民雄)さんの妻、美智子さんにお話を伺いました。

広報部 おばあちゃんは如何ですか?

石崎 別に病氣ではないのですが、寄る年波には勝てないので、ほとんど寝たきりです。でも、食事、排便は自分ででき

ます。

広報部 食事と言えは……

石崎 やわらかいご飯を茶わん一杯食べます。おかずも豆腐、玉子、魚類(軽いもの)など、やはりやわらかいものです。昔は何んでも食べていました。野菜よりはむしろ肉類が好き。な人だったと聞いております。

広報部 今迄病氣は?

石崎 ほとんど病氣をしたことがないと言っていました。ただ、早くから耳が遠くなりまして、会話は困難でしたね。でも一年前までは家の外へ出て歩いていましたから、元氣だったわけですね。

広報部 長生きの秘決は?

石崎 さあ何でしょうね。食べ

物に好き嫌いがなく、働く(体を動かす)ことを惜しまなかつたといったところでしょうか。

八十才を過ぎるまで仕事をしてきたそうだから。

何せ、私たちが年が離れすぎている上に、私が稼いで来るずっと以前のことで詳しいことは存じません。若い頃の楽しかった事や苦しかった事の思い出、エピソードなどお話しできないのが残念です。申し訳ありませんが……。

広報部 いえいえ。どうか、いつまでも海蔵長寿一でいらっしやるよう、お世話してあげて下さい。どうもありがとうございます。

メモ欄

海蔵地区世帯数・人口数 (55.6.30現在)	
2,990世帯	
10,186人 (男子 5,049人 女子 5,137人)	
海蔵地区出生・死亡数 (昭和54年度)	
出生	129人
死亡	61人
四日市市の最高齢者	
男子	山村町 稲垣さん 99才 (M.13.12.26生れ)
女子	波木町 多田さん 100才 (M.13.1.1生れ)

海蔵地区社会福祉協議会総会だより

昭和54年度決算書

収入の部				内 訳
科 目	予算額	決算額	増 減	
繰越金	579,722	579,722	0	
善意寄付金	700,000	893,806	193,806	善意の袋428,897円 法・個人寄付464,909円
助成金	111,600	109,900	△1,100	連合自治会72,000円 市社協37,900円
補助金	772,000	878,400	106,400	市より敬老補助281,000円 共募金537,400円
更正貸付金	240,000	240,000	0	地区母子福祉会貸付金返納
敬老行事寄付金	272,000	281,000	9,000	各町自治会負担金 500円×562人
雑収入	60,000	153,507	93,507	預金利子ほか
合 計	2,734,722	3,136,335	401,613	

支出の部				内 訳
科 目	予算額	決算額	増 減	
会議費	8,000	6,400	△1,600	会議お茶代
事務費	10,000	10,028	28	キヤノンペーパー、ゴム印
印刷費	160,000	158,350	△1,650	"かいぞう"2回発行、善意の袋、写真代
備品費	5,000	0	△5,000	
助成費	10,000	10,000	0	遊園地助成 (5,000円×2ヶ所)
補助金	228,000	257,000	29,000	中 学 校 32,000 母子福祉会 30,000 小 " 30,000 海蔵文庫 40,000 婦人会 30,000 青少年団協 35,000 子供育成会 30,000 老人クラブ 30,000
分租金・会費	75,000	70,000	△5,000	社明運動
渉外費	160,000	141,000	△19,000	連絡員等の謝礼及び慶弔費、その他、渉外
啓蒙費	70,000	67,030	△2,970	ソフトボール大会、書道展等
福祉費	1,226,000	1,208,530	△17,470	心配事相談 (30,000×12ヶ月) 敬老会記念行事 (600,530) 年末見舞金 (248,000) 準保護家庭 2,000×38世帯 独居老人 2,000×33 若年母子家庭 2,000×53
更生貸付金	240,000	240,000	0	地区母子福祉会貸出金
委託料	120,000	120,000	0	留守家庭児童委託料
雑費	10,000	0	△10,000	
子備費	412,722	0	△412,722	
合 計	2,734,722	2,288,338	△446,384	

差引残高847,997円は次年度へ繰越す

上記のとおり報告いたします。

昭和55年3月31日 会長 児島清夫 ㊟

監査の結果、正確であることを証明する。

昭和55年3月31日 監事 平野博 ㊟

" 真弓英子 ㊟

昭和54年度 善意の寄付者芳名 (順不同)

寄付者氏名	金額	寄付者氏名	金額
財団法人陶和福祉会	33,000	東海出版	5,000
善意の袋	428,897	山梨喜一	50,000
四日市市	3,000	辻三好	10,000
地区婦人会	30,630	三ッ谷西区自治会	3,560
"理事一	10,000	野田二丁目自治会	2,940
富永正済	15,000	水谷幹男	5,580
地区民生委員	78,000	ユニ一 中京本部	10,049
市社会福祉協議会	10,000	水谷輝夫	100,000
平野昭	11,160	募金箱	28,152
日研陶器従業員	22,964	ユニ一 阿倉川店	9,124
三ッ谷町篤志家	12,000	(市)社明運動	7,000
森昌男	7,750	合 計	893,806

地区広報「かいぞう」をお届けします。従来、社協「かいぞう」として二十一号まで発行して参りましたが、今回から地区市民センターと社会福祉協議会とが共同で、紙面サイズをや、大きくして、新しく刊行しました。広い意味での地域福祉を実現するという観点から、海蔵地区内での様々な話題、課題を取り上げようと試みました。こうした意図が紙面にどれだけ反映されたか疑問の残るところですが、今後におきましてはさらに皆様方のご意見を賜りつつ、海蔵地区の広報紙として発表させたいと願う次第です。海蔵地区市民センター 地区社協広報部長

総会にて承認さる

(決算・予算・事業報告等)

去る6月6日、地区社協の総会(理事会)が開催され、予算、決算、事業報告、規約改正、役員の変更などが討議され、承認されました。その一部を次のとおり報告いたします。

新役員体制のもとで、海蔵地区の福祉活動をより充実させるよう努力して参りたいと思いますので、地域住民の皆様の積極的なご参加と、ご理解、ご協力をお願い申し上げる次第です。

昭和55年度事業計画

月別	事業名	事業内容
5月	役員会	総会についての役員会
6月	総会開催	昭和54年度 1.事業報告 2.会計報告 " 55年度 1.事業計画(案) 2.予算(案) 3.役員選出 4.規約改正
"	善意の袋	各戸に配布(自治会扱い)
7月	機関紙発行	No22号発行(7月下旬) 主題 54年度事業・決算報告 55事業・予算
8月	役員会	敬老行事について
9月	敬老行事	
10月	共同募金	10月1日~10月末(事業主体)民生委員会・自治会
"	ソフトボール大会	町対抗親善ソフトボール大会
"	ガン検診	検診車による健康検診
12月	歳末たすけあい募金	12月1日~12月10日(事業主体)民生委員会・自治会
"	役員会	年末慰問について(独居老人・若年母子・準要保護世帯)
1月	福祉画・書道展開催	1月下旬~2月上旬 場所:北伊勢信用金庫阿倉川支店 ・百五銀行阿倉川支店 ・ユニ一阿倉川店 ・第三相互銀行西阿倉川支店
2月	機関紙発行	No23号発行(2月下旬) 主題 福祉画・書道展
3月	ソフトボール大会	町対抗親善ソフトボール大会

規約改正

<現 行>	<改 正>
第2条 本会の事務所を市役所海蔵出張所内におく	四日市市海蔵地区市民センター
第5条 海蔵地区の人はどなたでも会員になることができる	住民はすべて
第8条 本会に寄付していただいたお金は原則として海蔵地区に還元するものとする	(削 除)
第9条 1.理事 50名以内 2.監事 2名 理事は会員及び各種団体長並びに民生委員の中より選出し、理事のうち1名を会長、2名を副会長、1名を書記、1名を会計、1名を専務理事とする	(追 加) 必要に応じて、常任理事を若干名置くことができる
附 則	この規約は昭和55年6月6日一部改正 同日施行

編集後記

◎どの子にも愛を希望をしあわせを